

1 取組の経緯

- ・ 自然公園等における博物展示施設、休憩所、公衆トイレ等の公園利用施設の整備に当たっては、周辺の自然環境と調和を図るため、自然素材を使用することを基本としており、特に建築物は、原則木造で整備をしている。
- ・ 建築物以外の工作物（柵、ベンチ、段差工、木道等）についても、建築物と同様に極力木材を利用するように努めている。
- ・ 平成23年4月には、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づく「公共建築物における木材の利用の促進のための計画」を策定し、全省において公共建築物等への木材の利用を積極的に促進している。

2 最近の整備実績

【自然公園等施設（建築物）】

| 項目 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 |
|-----------|--------|-------|-----------------------|-----------------------|
| 施設の整備数（棟） | 11 | 15 | 13 | 20 |
| 延べ面積（㎡） | 3,384 | 2,252 | 3,339 | 6,027 |
| うち木造（棟） | 8 | 14 | 11 | 16 |
| 木造率 | (73%) | (93%) | (85%) | (80%) |
| 延べ面積（㎡） | 1,375 | 2,240 | 3,247 | 2,642 |
| 木造率 | (41%) | (99%) | (97%) | (44%) |
| うち非木造（棟） | 3 | 1 | 2 | 4 |
| 延べ面積（㎡） | 2,009 | 12 | 92 | 3,385 |
| うち内装木質化 | 2 | 0 | 1 | 3 |
| 木材使用量（㎥） | 228 | 617 | 809 | 775 |
| うち国産材（㎥） | 228 | 570 | うち製材・丸太 617 | うち製材・丸太 364 |
| 国産材比率 | (100%) | (92%) | うち国産材 605 (98%) | うち国産材 354 (97%) |

注：平成23年度調査から集計方法を変更。平成24年度には支出委任分を含む。

3 木材利用整備事例

展示施設・事務所等



濤沸湖水鳥・湿地センター
H23（北海道 網走市）



那須平成の森 作業小屋
H24（栃木県 那須町）



檜枝岐自然保護官事務所
H24（福島県 檜枝岐村）

その他の施設



船上山休憩所
H24（鳥取県 琴浦町）



宮之浦岳縄文杉線歩道トイレ
H23（鹿児島県 屋久島町）



那須高原ビジターセンター四阿
H23（栃木県 那須町）

（参考）【自然公園等施設（工作物）】

| 項目 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 |
|----------------------------------|----------------|-----------------|----------------|--------------|
| 事業数 | 61 | 76 | 60 | 50 |
| うち木材利用数 (利用率) | 57 (93%) | 68 (89%) | 55 (92%) | 40 (80%) |
| 木材使用量 (m ³) | 1,314 | 1,278 | 1,336 | 650 |
| うち国産材(m ³) (国産材率) | 1,295 (99%) | 1,276 (100%) | 1,324 (99%) | 639 (98%) |

※自然公園施設の工作物は、柵、ベンチ、段差工（階段工）、木道、木橋、木材チップ歩道、標識等である。